

国立大学法人総合研究大学院大学で雇用するJSPS特別研究員-PD等の育成方針

国立大学法人総合研究大学院大学統合進化科学研究センターでは、JSPS特別研究員の育成方針として以下を実施する。

- 国際的な活躍のサポート
JSPS特別研究員による在外研究、国際学会への参加、海外研究者との共同研究を促進し、必要な費用を全額または一部負担する。さらに、不在中の事務手続きに不備が出ないようバックアップ体制を整備する。
- メンター教員の配置
JSPS特別研究員の希望に沿って、受け入れ教員以外の教員をメンター教員として配置し、共同研究のみならず、研究教育・キャリア形成などに関する助言を受けることができる体制を整備する。
- 教育経験の提供
プレFDという位置づけで、JSPS特別研究員に統合進化科学コースにおける講義や実習を部分的に受け持つ機会を提供し、教育経験を積んでもらうことを推奨する。ただし、教育機会提供を名目として、教員が実施すべき講義等の負担がJSPS特別研究員に転化されるなど、結果として当該PDの研究専念義務に影響が生じることがないように十分な配慮をする。
- アカデミアや民間の就職支援、研究費獲得支援
就職機会に応募する際の手紙や研究費の申請書などに、経験豊かな教員からコメントをもらうことができる環境を整備し、JSPS特別研究員が効率的にキャリアアップ・実績を積めるようにする。
- ワークライフバランスが取れる体制の構築
女性研究者の産休、育休はもちろんのこと、男性研究者も積極的に産休、育休が取得できるような環境を整える。また、復帰の際には、無理ない研究復帰ができるようにサポートする。例えば、在宅勤務や学内セミナー等の行事のハイブリッド化を促進し、時間的拘束を低減させる。